

2019年3月期 第3四半期 決算補足資料

2019年2月7日
株式会社ウィルグループ（東証一部 6089）



- I .19年3月期 3Q実績
- II .19年3月期 通期業績予想
- III .19年3月期 3Qトピックス
- IV .参考資料

I .19年3月期 3Q実績

主要3事業は苦戦するも、注力3事業好調

(セールスOS事業、コールセンターOS事業、ファクトリーOS事業)

(介護ビジネス支援事業、海外HR事業、スタートアップ人材支援事業)

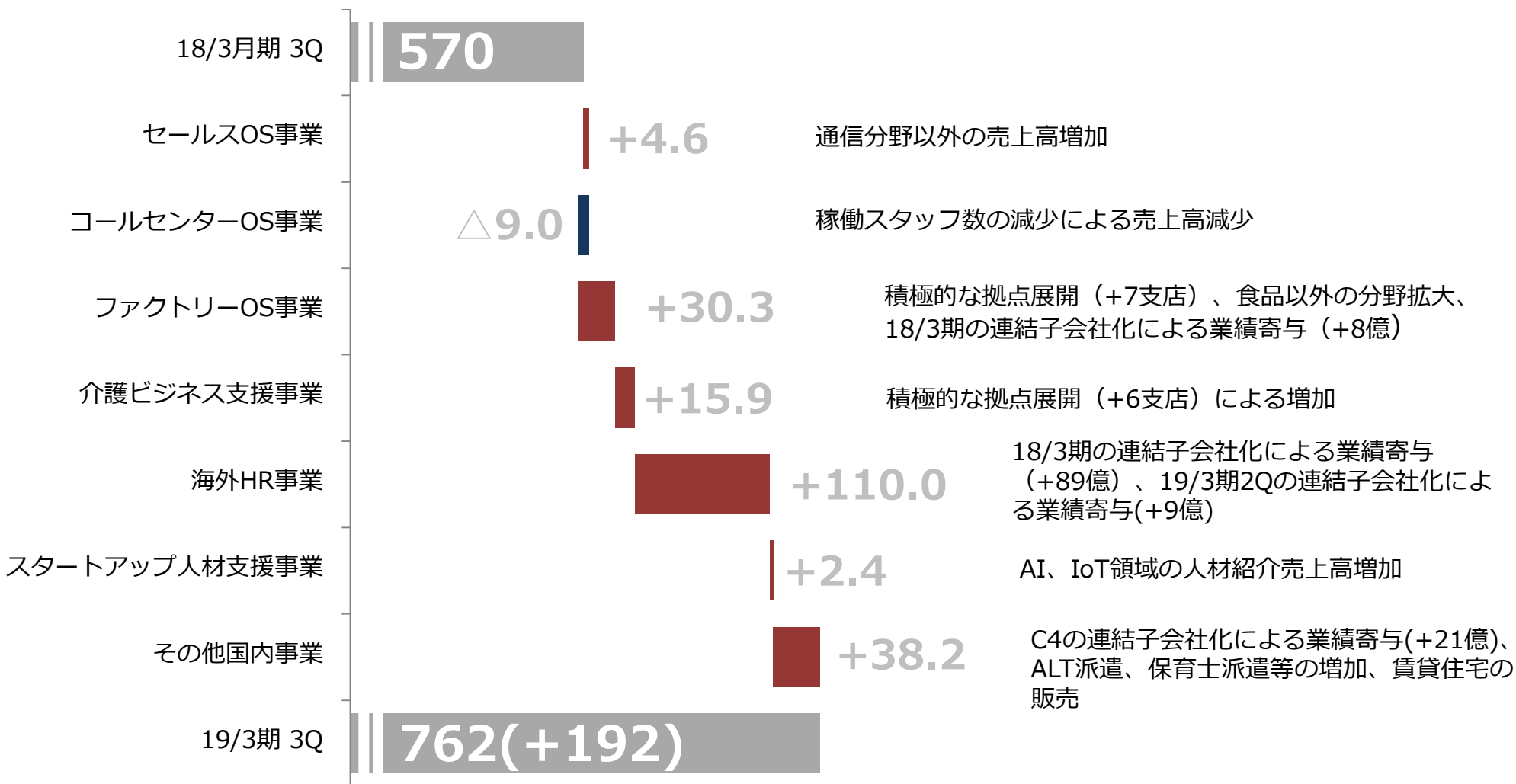
単位：百万円	18年3月期 3Q累計	19年3月期 3Q累計	増減	増減率
売上高	57,009	76,290	+19,281	+33.8%
売上総利益 (売上総利益率)	11,628 (20.4%)	15,193 (19.9%)	+3,565 (△0.5pt)	+30.7%
営業利益 (営業利益率)	2,079 (3.6%)	1,954 (2.6%)	△124 (△1.1pt)	△6.0%
経常利益	2,075	1,969	△105	△5.1%
親会社株主に帰属 する四半期純利益	1,045	1,009	△36	△3.5%
EBITDA	2,490	2,723	+232	+9.3%

従業員数：3,379人
(前年度末比：1,335人増)

フィールドサポーター：854人
(前年度末比：372人増)

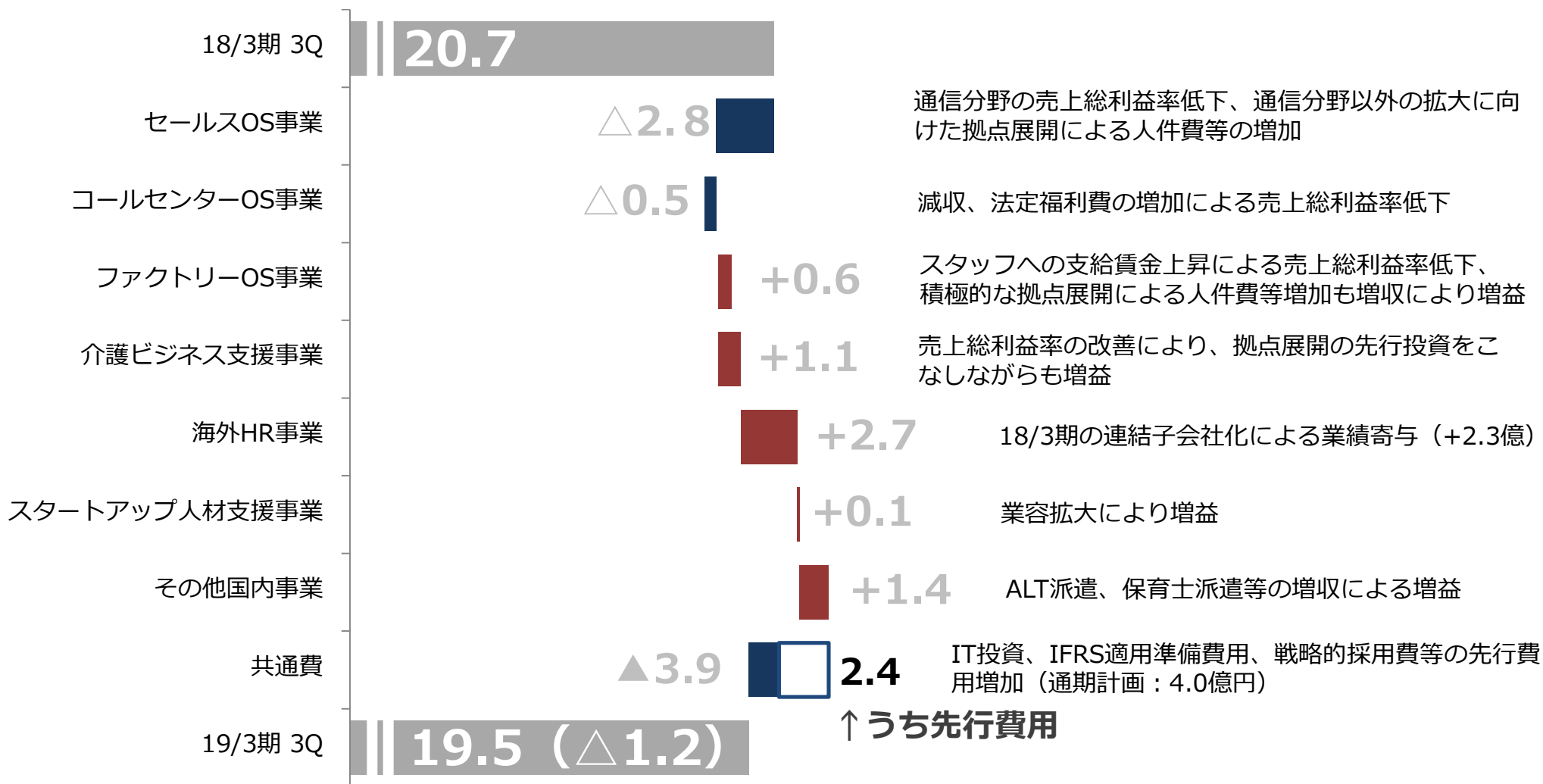
3Q 売上高増減(前年同期)内訳

(億円)

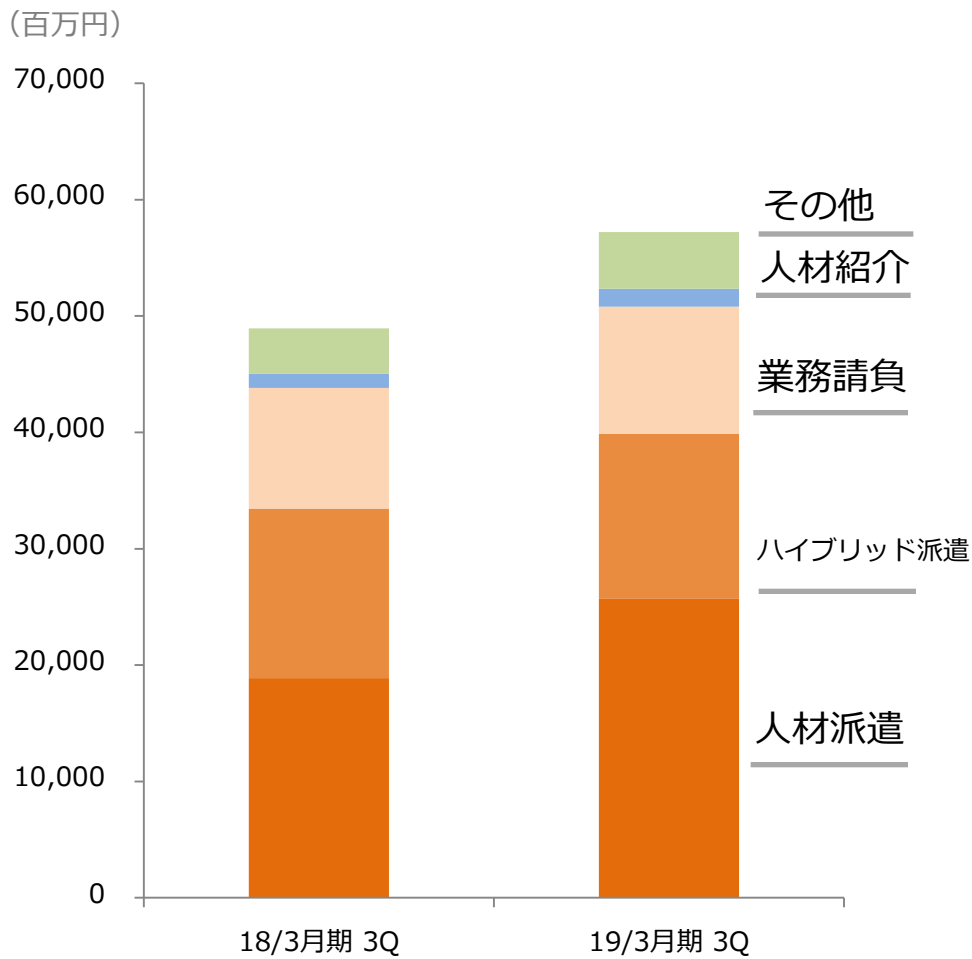


3Q 営業利益増減(前年同期)内訳

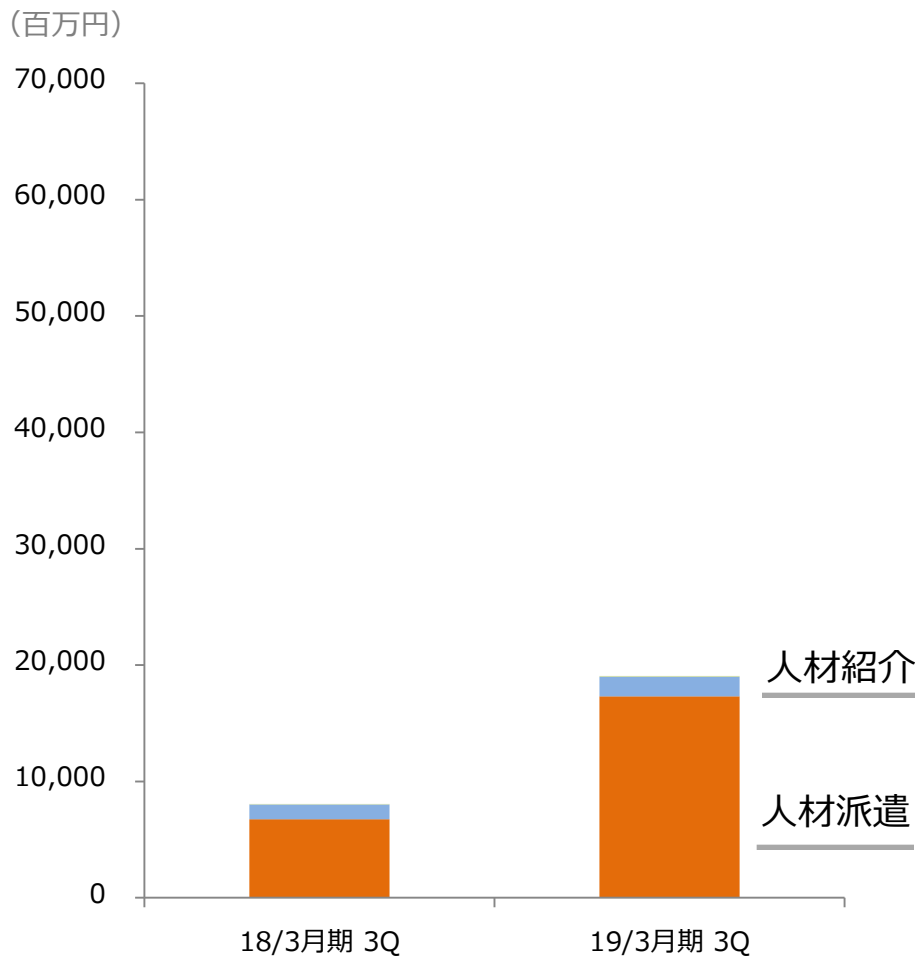
(億円)



国内人材サービス



海外人材サービス



➤売上高

通信分野以外（アパレル・セールスプロモーション）の売上高増加

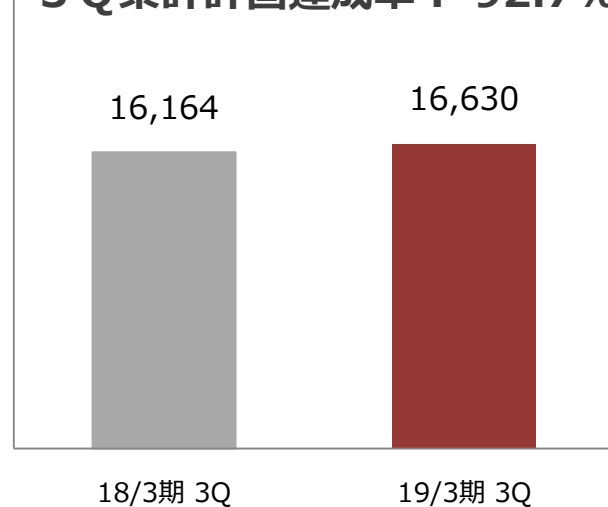
➤セグメント利益

通信分野のインセンティブ収入の減少等による売上総利益率低下

通信以外の分野拡大に向けた拠点展開（+9支店）による人件費等の増加

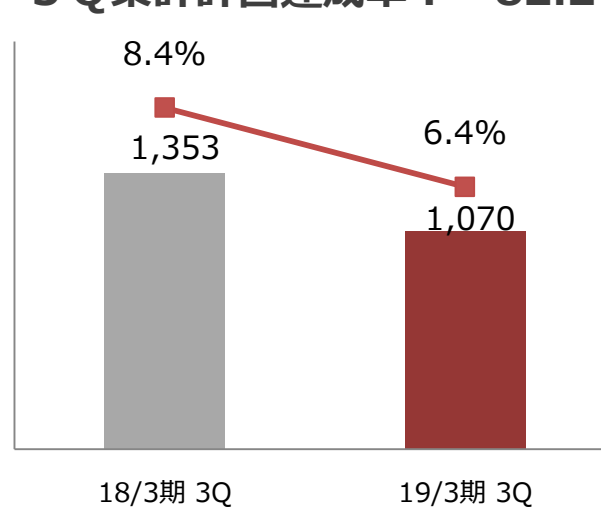
売上高 (百万円)

前年同期比 : +2.9%
3Q累計計画達成率 : 92.7%



セグメント利益 (百万円)

前年同期比 : Δ 21.0%
3Q累計計画達成率 : 82.2%

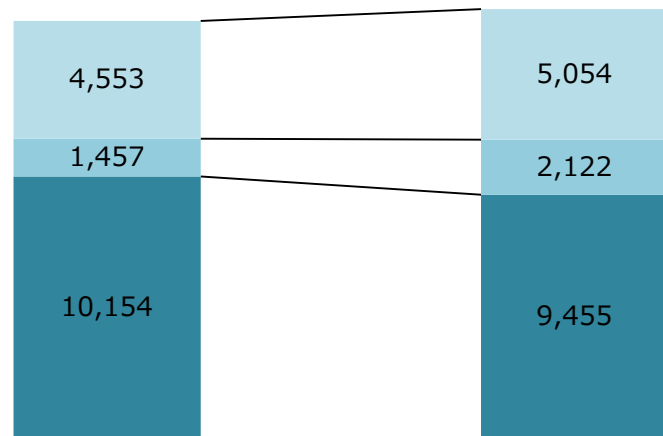


- 通信分野は、顧客の販売促進費用抑制等の影響による受注規模縮小
- アパレル、セールスプロモーション分野は拠点拡大により増加

売上高

(百万円)

+2.9%

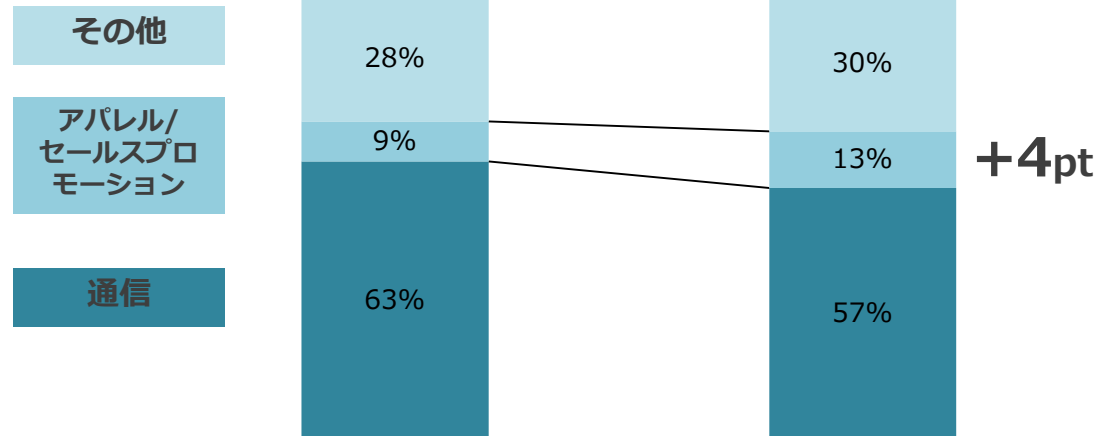


18/3期 3Q

19/3期 3Q

売上高構成比

(%)



18/3期 3Q

19/3期 3Q

+4pt

➤売上高

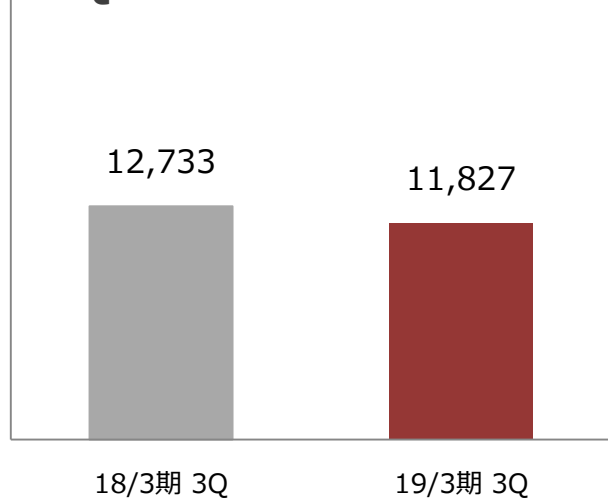
採用難による稼働スタッフ数の減少による減収

➤セグメント利益

減収、法定福利費の増加による売上総利益率の低下の一方、人材紹介売上増加により減益幅は縮小（2Q前年同期比：△33.2%）

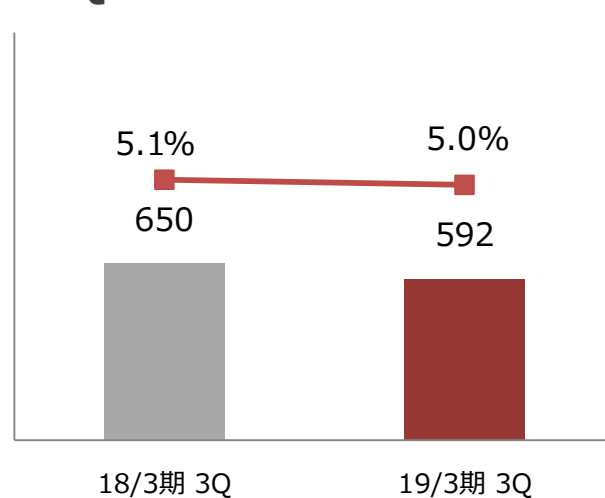
売上高 (百万円)

前年同期比 : $\Delta 7.1\%$
3Q累計計画達成率 : **88.1%**



セグメント利益 (百万円)

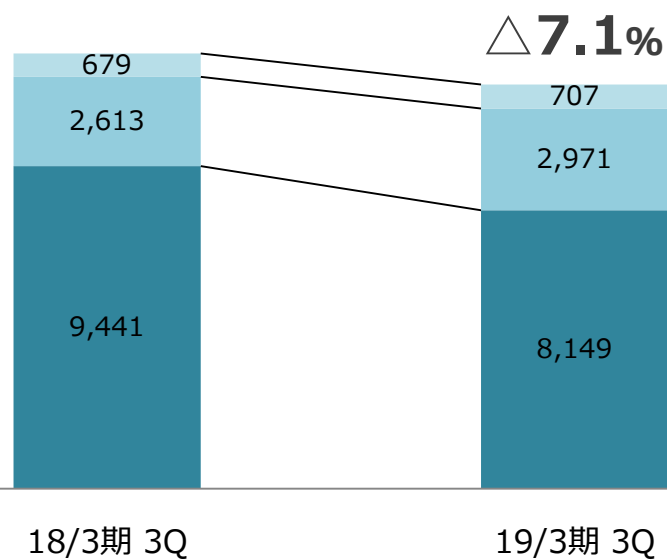
前年同期比 : $\Delta 9.0\%$
3Q累計計画達成率 : **88.9%**



- コールセンター分野は減少
- オフィス、金融分野は開拓強化により増加

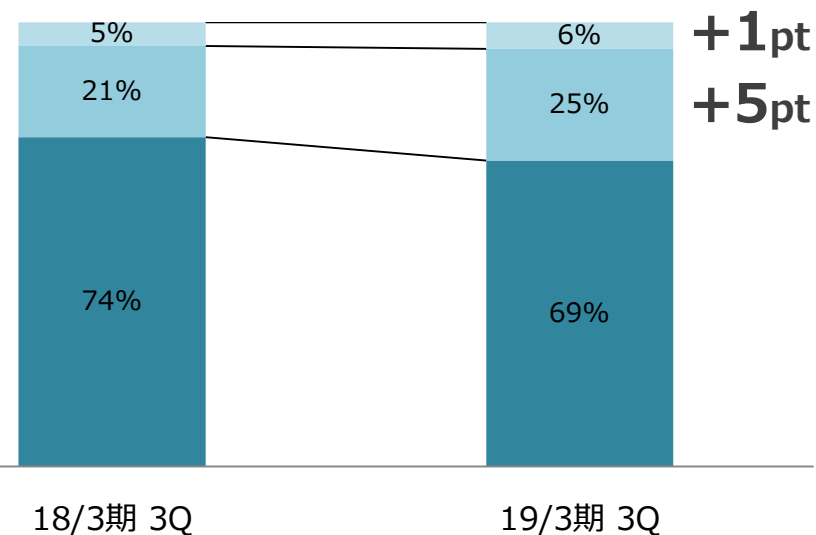
売上高

(百万円)



売上高構成比

(%)



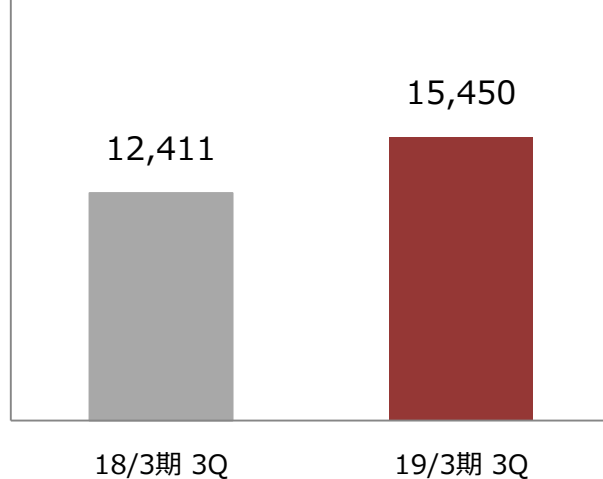
➤売上高

積極的な拠点展開、外国人の積極採用、食品以外の分野拡大、前年度連結子会社化のリトルシーズサービスの業績寄与により増加

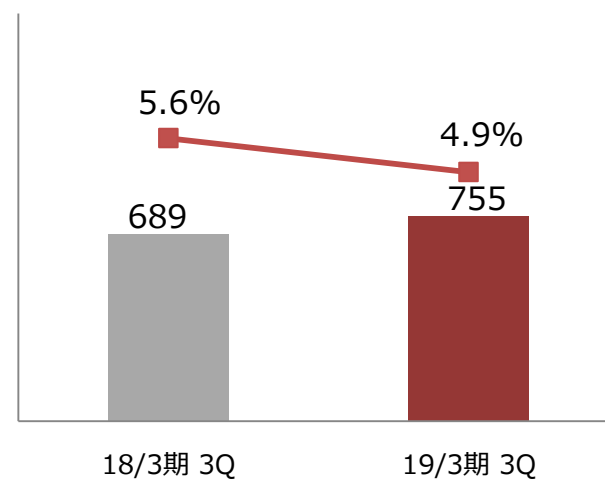
➤セグメント利益

スタッフへの支給賃金上昇による売上総利益率の低下、支店拡大（+7支店）による人件費等の先行費用増加するも増収により増益

売上高	(百万円)
前年同期比	: +24.5%
3Q累計計画達成率	: 94.2%



セグメント利益	(百万円)
前年同期比	: +9.6%
3Q累計計画達成率	: 90.9%

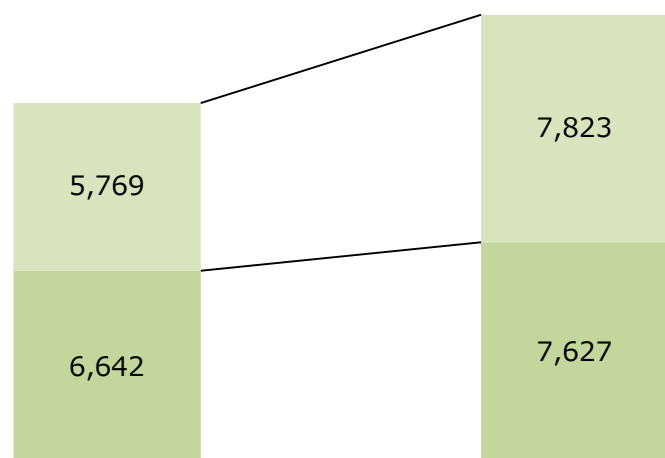


- 中食の需要が堅調により、食品分野は引き続き増加
- 化粧品分野等、食品分野以外の領域拡大にも積極的に取り組み、食品以外の分野も増加

売上高

(百万円)

+24.5%



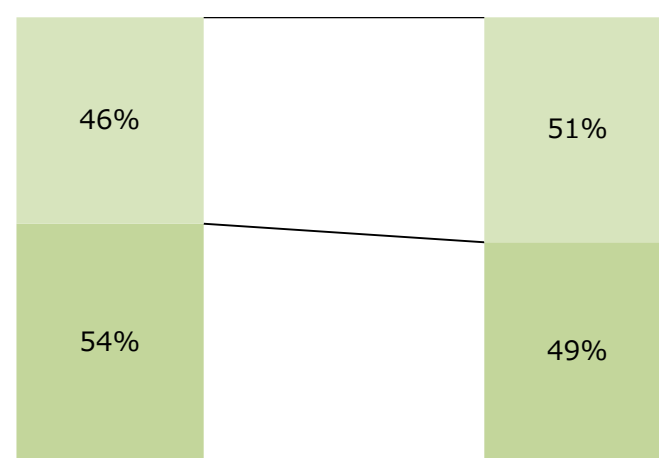
18/3期 3Q

19/3期 3Q

売上高構成比

(%)

+4pt



18/3期 3Q

19/3期 3Q

➤売上高

積極的な拠点展開により増加

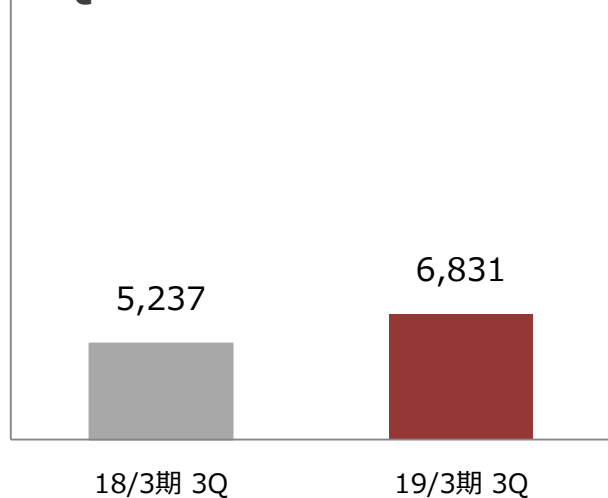
➤セグメント利益

積極的な拠点展開により人件費等費用先行するも、契約条件の見直し、介護職向け人材紹介売上の増加による売上総利益率の改善により、早期収益化に向けて順調に推移

売上高 (百万円)

前年同期比 : +30.5%

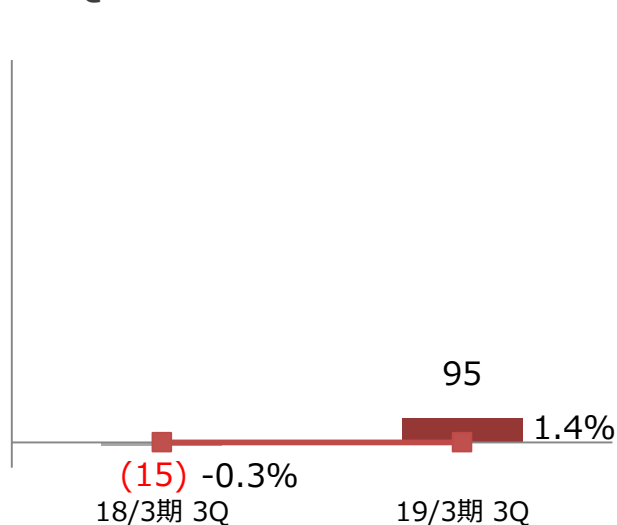
3Q累計計画達成率 : 103.7%



セグメント利益 (百万円)

前年同期比 : - (+111百万円)

3Q累計計画達成率 : - (計画+145百万円)

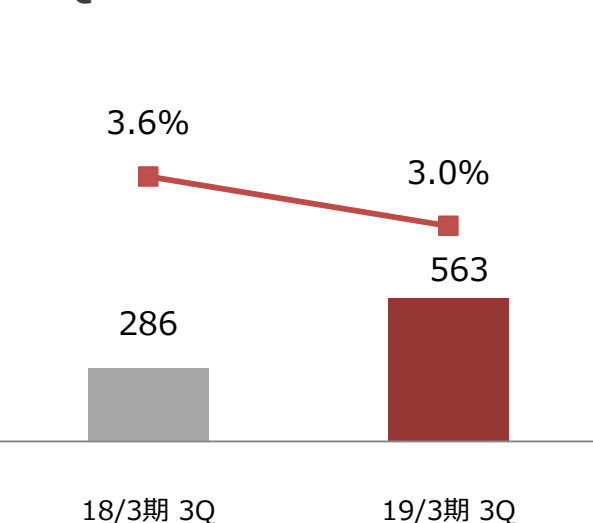
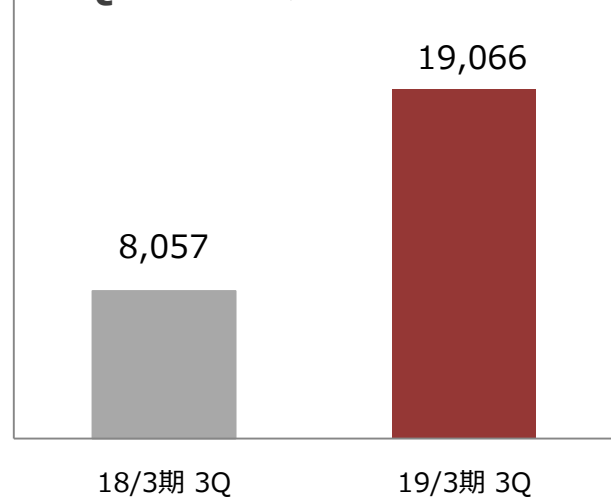


➤売上高

DFP Recruitment Holdings Pty Ltdの連結子会社化（2018年1月）の業績寄与に加えて、シンガポール及びオーストラリアの連結子会社の業容が順調に拡大

➤セグメント利益

DFP Recruitment Holdings Pty Ltdの業績寄与

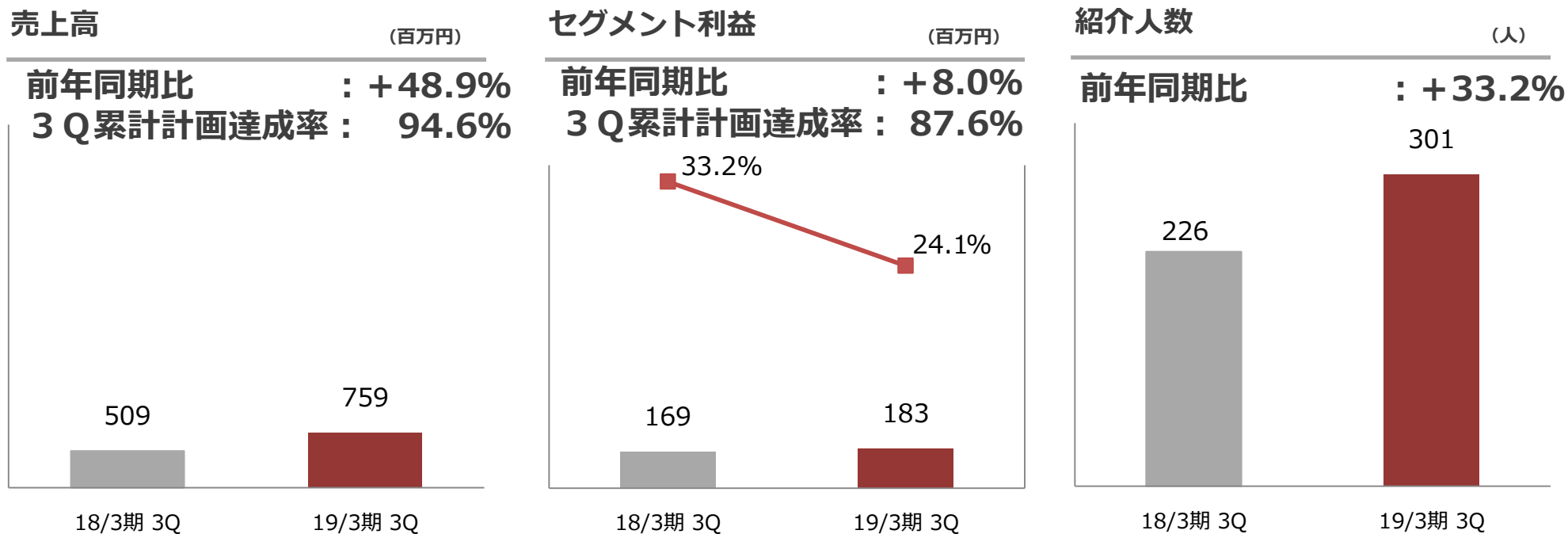


➤売上高

AIやIoT領域の人材紹介売上増加

➤セグメント利益

業容拡大に向けた人件費等の増加により、セグメント利益率は低下



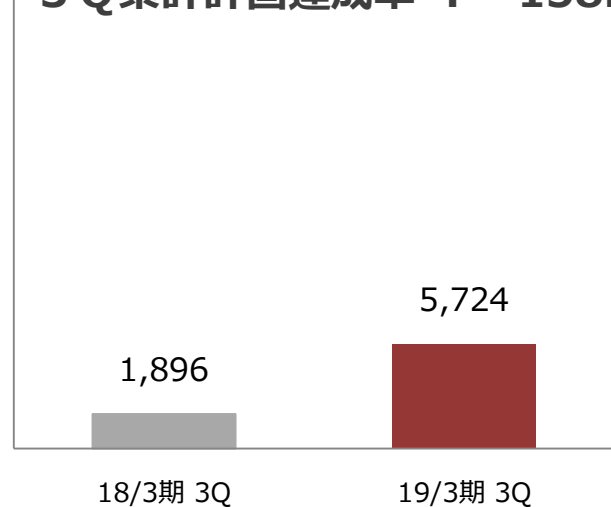
➤売上高

C4株式会社（建設技術者派遣・紹介事業）の連結子会社化による業績寄与、ALT派遣、保育士派遣・紹介好調に推移。ITエンジニア/クリエイター向け集合住宅（TECH RESIDENCE）1物件の販売

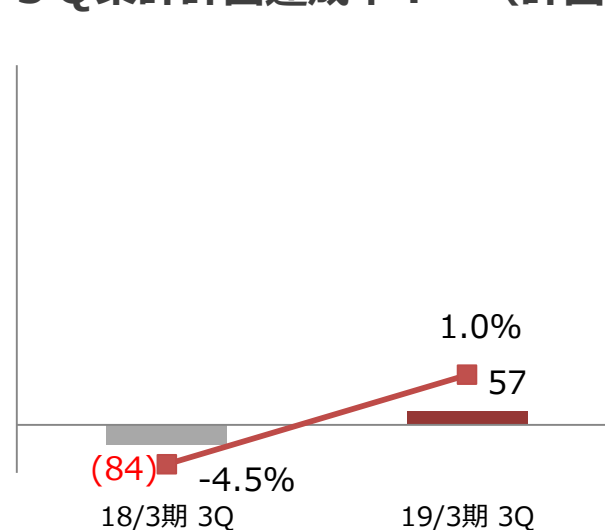
➤セグメント利益

新規育成事業の投資をこなしながら、ALT派遣、保育士派遣・紹介の業容拡大及び赤字事業の撤退により増益

売上高	(百万円)
前年同期比	: +201.9%
3Q累計計画達成率	: 158.1%



セグメント利益	(百万円)
前年同期比	: - (+142百万円)
3Q累計計画達成率	: - (計画+109百万円)



単位：百万円	2018年 3月末	2018年 12月末	増減
流動資産	22,345	24,977	+2,631
固定資産	5,151	8,070	+2,919
資産合計	27,496	33,048	+5,551
流動負債	15,534	18,831	+3,297
固定負債	2,445	6,601	+4,156
負債合計	17,979	25,433	+7,453
純資産合計	9,517	7,614	△1,902
負債純資産合計	27,496	33,048	+5,551
自己資本比率	30.0%	20.6%	△9.4pt
ネットDEレシオ	△0.3倍	0.5倍	+0.8
EBITDA調整後 有利子負債倍率*	1.1倍	2.4倍	+1.3

*2018年12月末は予想ベースのEBITDA。有利子負債残高は短期借入金を除く

■ 増減の主な要因

● 資産

- ・ 現金及び預金 +648百万円
- ・ 受取手形及び売掛金 +1,643百万円
- ・ 無形固定資産 +2,652百万円
- ・ 有形固定資産 +218百万円
- ・ 投資その他の資産 +48百万円

● 負債

- ・ 短期借入金 +1,600百万円
- ・ 1年内返済予定長期借入金 +1,248百万円
- ・ 未払消費税等 +255百万円
- ・ 長期借入金 +3,745百万円
- ・ 繰延税金負債 +405百万円

● 純資産

- ・ 資本剰余金 △1,949百万円
- ・ 利益剰余金 +611百万円
- ・ 非支配株主持分 △473百万円

Ⅱ.19年3月期 通期業績予想

市場環境の先行きが不透明なため、通期業績予想は据置

単位：百万円	18年3月期 (実績)	19年3月期 (業績予想)	3Q 実績	進捗率
売上高	79,197	100,000	76,290	76.3%
営業利益 (営業利益率)	2,417 (3.1%)	2,600 (2.6%)	1,954 (2.6%)	75.2%
経常利益	2,437	2,600	1,969	75.8%
親会社株主に帰属する 当期純利益	1,210	1,350	1,009	74.8%
EBITDA	3,044	3,440	2,723	79.2%

Ⅲ.19年3月期 3Qトピックス

M&A

シンガポールを中心に、香港、日本、米国、中国、U.A.E及びオーストラリアにおいてHR領域に特化した人材紹介、コンサルティング事業を展開している、The Chapman Consulting Group Pte.Ltd.の株式を51%取得（2019年1月）

【会社概要】

会社名 : The Chapman Consulting Group Pte. Ltd.
本社 : シンガポール
主な事業内容 : 人材紹介
売上高※ : 1,133百万円（2017年12月期）
税引前当期純利益※ : 315百万円（2017年12月期）
当期純利益※ : 260百万円（2017年12月期）
取得価額 : 1,888百万円



※1シンガポールドルあたり80円で換算しています。
連結業績予想への影響は軽微です。

IV. 參考資料

【セールスOS事業】

■ 売上高

	1Q	2Q	3Q	4Q
17/3期	4,595	4,818	5,277	5,380
18/3期	5,231	5,194	5,737	5,490
19/3期	5,371	5,437	5,820	—

【コールセンターOS事業※】

■ 売上高

	1Q	2Q	3Q	4Q
17/3期	3,528	3,891	3,971	4,042
18/3期	4,082	4,310	4,340	4,060
19/3期	3,905	3,857	4,065	—

※ 19/3期より従来「その他」に含まれていたオフィス向け派遣・紹介事業を、コールセンターアウトソーシング事業に統合しております。
そのため、17/3期、18/3期の実績は、変更後の区分に組み替えた数値です。

【ファクトリーOS事業】

■ 売上高

	1Q	2Q	3Q	4Q
17/3期	3,157	3,363	3,554	3,622
18/3期	3,770	3,891	4,749	4,582
19/3期	4,732	5,081	5,636	—

単位：百万円

■ セグメント利益

	1Q	2Q	3Q	4Q
17/3期	211	349	419	510
18/3期	468	438	446	395
19/3期	281	356	432	—

■ セグメント利益

	1Q	2Q	3Q	4Q
17/3期	133	209	199	278
18/3期	187	237	225	169
19/3期	130	153	308	—

■ セグメント利益

	1Q	2Q	3Q	4Q
17/3期	143	151	188	236
18/3期	208	211	269	202
19/3期	197	227	330	—

【介護ビジネス支援事業】

■ 売上高

	1Q	2Q	3Q	4Q
17/3期	1,102	1,287	1,377	1,477
18/3期	1,588	1,761	1,886	1,902
19/3期	2,067	2,286	2,478	—

【海外HR事業】

■ 売上高

	1Q	2Q	3Q	4Q
17/3期	601	629	717	2,160
18/3期	2,368	2,841	2,847	5,112
19/3期	5,806	6,293	6,966	—

【スタートアップ^o人材支援事業※】

■ 売上高

	1Q	2Q	3Q	4Q
17/3期				
18/3期	132	204	172	221
19/3期	245	291	222	—

※17/3期の実績は、その他に含んでおります。

■ セグメント利益

	1Q	2Q	3Q	4Q
17/3期	△31	24	19	68
18/3期	△46	6	24	△0
19/3期	△20	49	67	—

■ セグメント利益

	1Q	2Q	3Q	4Q
17/3期	12	12	9	42
18/3期	21	174	91	66
19/3期	263	202	97	—

■ セグメント利益

	1Q	2Q	3Q	4Q
17/3期				
18/3期	26	88	54	39
19/3期	51	83	48	—

【その他】

■ 売上高

	1Q	2Q	3Q	4Q
17/3期	434	493	528	620
18/3期	576	588	732	818
19/3期	1,394	2,036	2,292	—

■ セグメント利益

	1Q	2Q	3Q	4Q
17/3期	△28	36	△5	△14
18/3期	△23	△55	△4	6
19/3期	40	△19	37	—

【地域セグメント（海外）】

■ 売上高（アジア）

	1Q	2Q	3Q	4Q
17/3期	601	629	717	878
18/3期	995	1,128	1,230	1,179
19/3期	1,338	1,412	1,442	—

単位：百万円

■ 売上高（オーストラリア）

	1Q	2Q	3Q	4Q
17/3期				1,282
18/3期	1,372	1,712	1,617	3,933
19/3期	4,468	4,881	5,523	—



WILL GROUP

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

■ IRに関するお問い合わせ先

株式会社 ウィルグループ

コーポレート・コミュニケーション部